

福岡商工会議所 経営発達支援計画 令和2年度実績と評価について

1. 福岡商工会議所 経営発達支援計画の概要

実施期間：平成31年4月1日～令和4年3月31日

福岡商工会議所は、管内の産業構造や経済政策、事業者の課題等を踏まえ、小規模事業者振興に取り組む。

福岡市内事業所の半数以上を占める小規模事業者の成長段階に応じた個別具体的で、きめ細かな継続的支援（伴走型支援）を行うため、地域の経済動向や需要動向などの各種調査、事業所毎に行う経営状況分析を活用しながら、積極的に経営改善提案を行うとともに、事業計画の策定を支援する。計画策定後は、定期的に進捗確認を行うことで、PDCAを意識した経営を先導する。

また、新たな需要の開拓に寄与するため、「食」、「観光」、「ファッション」、「海外展開」関連の商談会等を開催し、事業者発掘から商談、フォローアップまで一貫した支援を行い、小規模事業者の売上増加・販路拡大につなげるほか、行政等関係団体と連携した大規模イベントの実施や、商店街を中心とした消費喚起イベントの開催等を支援し、国内消費・インバウンド需要の取り込みと地域経済の活性化を図る。

2. 令和2年度の実施状況および評価について

(1) 自己評価

当所で計画した具体的な54の支援項目について、定量目標を設定して支援に取り組み、支援実績に対し定量評価を実施した。（詳細は4～7ページ参照）

○評価結果

- A評価 18項目（目標達成 達成率：100%以上）
- B評価 2項目（目標を概ね達成 達成率：80%～99%）
- C評価 19項目（目標を半分程度しか達成できなかった 達成率：30%～79%）
- D評価 11項目（目標をほとんど達成することができなかった 達成率：30%未満）
- E評価 4項目（未実施）

(2) 外部有識者による評価

当所で取りまとめた令和2年度の実施状況等に対し、外部有識者による評価会議をオンラインおよび対面にて開催した。概要は次のとおり。

○日 時 (オンライン) 令和3年5月28日(金) 10時～11時30分
13時30分～14時40分

(対 面) 令和3年5月31日(月) 11時～11時40分

○有識者 奥山慎次 氏 (中小企業診断士)
 糸山朋輝 氏 (中小企業基盤整備機構 地域活性化支援チーフアドバイザー)
 砂子隆志 氏 (中小企業基盤整備機構 地域活性化支援チーフアドバイザー)

○外部有識者の評価

〈総括〉

- ・ 令和2年度の活動実績は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で十分に成果を出していると考えられ、評価に値する。PDCAを意識し、適宜課題の確認、見直し検討を行っており、その内容も適切で問題ない。特に、オンライン化へのスムーズな転換やニューノーマルに対応した商材企画など、販路開拓・マッチング支援では「応用力の高さ」が伺える。今後も、外部環境の変化に合わせた支援が実現できるよう、スピード感を持って推進してほしい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が収束したとしても、社会・経済全体が前と同じ仕組みに戻るとは考えにくい。今期(令和3年度)についても、取組み計画に変化が求められることが推測され、短いサイクルでの計画の見直しやDXの積極化による効率の良い事業運営等の検討が必要。また、行政の施策対応と並行して伴走支援を実現するためには、会議所全体が一丸となることが重要。経営支援体制の改善を検討いただきたい。

〈事業分野別〉

■ 個別事業者支援

- ・ 伴走支援の手法は、人海戦術が中心となる。新型コロナウイルス感染症にかかる施策対応に終始しているのが現状のようであるが、加入が増加している会員のフォローや成長先の洗い出し、継続支援など、本来の伴走支援を可能とする体制と仕組みに向けてエネルギーな改善が必要だと考える。
- ・ 経済状況が悪い時は、動向調査が注目される。今後も正確な実態把握を続けていくことが重要。

■ 販路開拓・マッチング支援

- ・ 今後は、商談会、セミナー、販売全てにおいてウェブの活用が必須となる。一方で、実物のやり取りや対面でなければ効果を発揮しない事項への改善を引き続き検討してほしい。
- ・ 現在構築中のオンラインマッチングシステムは、ユーザーにとっての「使い勝手」を良くすることが成功の要であるため、開発の際に注力してほしい。

■ 地域活性化支援

- ・ 博多どんたくは、2年連続中止となったが、判断に際しては、全国の祭りのリーダーならではの悩みがあったのではないかと。楽しみにしている消費者向けの対策を講じることが大切で、そのヒントを得る手段として、他のイベントとの連携検討や情報交換をすることをお勧めする。
- ・ インバウンド関連は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている現状での対応が難しいが、海外のウェブメディアを活用してPRを開始するなど、今後に向けた準備を今のうちにしておくことが大切である。

■ 支援力向上の取組み

- ・ 支援機関全体でコロナ対応が主体となっている中で、1年間の実績成果を評価することは難しい。
- ・ 支援機関同士で支援内容についてフィードバックを行い、今後を生かしていくことが重要と思われる。
- ・ 事前に動画を見てもらうことにより事業者相談の窓口対応時間を減らすなど、経営相談の質の向上にDXを取り入れることをお勧めしたい。
- ・ 経営指導員の資質向上に向けた勉強会は、この一年でやり方が大きく変わってきており、再検討が必要。オンラインの効率性をフル活用したいところだが、コミュニケーションが取りづらく、個人が持つノウハウを全体で共有するには限界があることも否めない。方法について考えてみてほしい。

3. 今後の対応について

社会・経済環境が大きく変化している中で、事業者の多くはビジネスモデルの転換を強いられ、経営資源の乏しい小規模事業者の伴走支援は質・量ともに求められている。コロナ禍2年目を迎え、支援実績を高めるためには、ニーズに合わせた支援計画の立案と効率的な支援実施を検証しながら繰り返し行っていくことが必要である。今後、オンラインツールの活用や支援の革新と併せて、実施体制の改善を図っていく。

参考：令和2年度の実施状況および定量評価について（詳細）

【評価基準（＝中企庁基準）】

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）
- E：未実施

○ 全体目標

1. 伴走型支援の強化

項目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
重点支援先小規模事業者数	750	923	A	750	823	750
伴走型支援により経営課題を解決した重点支援先小規模事業者数	100	0	D	80	82	120

I. 経営発達支援事業

2. 地域の経済動向調査に関すること

項目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
経営動向調査(公表回数)	4	4	A	4	4	4
特別調査(公表回数)	4	6	A	4	7	4
経営指導員による聞き取り調査(公表回数)	10	7	C	10	9	10
ビッグデータ活用(公表回数)	1	1	A	1	0	1

3. 経営状況の分析に関すること

項目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
巡回訪問件数(軒数)	8,000	271	D	8,000	7,479	8,000
経営状況分析セミナー開催回数	8	23	A	8	44	8
経営状況分析セミナー参加人数	240	283	A	240	569	240
経営分析件数	300	0	E	300	312	300
事業承継診断件数	800	602	C	800	555	800

4-1. 事業計画策定支援に関すること（事業者）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
事業計画策定セミナー開催回数	5	1	D	5	6	5
事業計画策定セミナー参加人数	100	7	D	100	219	100
事業計画策定件数	200	1,085	A	200	347	200

4-2. 事業計画策定支援に関すること（創業）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
起業マインド醸成セミナー開催回数	10	1	D	10	36	10
起業マインド醸成セミナー参加人数	500	20	D	500	1,079	500
起業塾開催回数	3	3	A	3	3	3
起業塾参加人数	60	38	C	60	63	60
創業計画策定件数	60	38	C	60	66	60

4-3 事業計画策定支援に関すること（事業承継）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
セミナー開催回数	10	12	A	10	74	10
セミナー参加人数	700	192	D	700	1,046	700
事業承継計画策定件数	14	44	A	14	12	14

4-4. 事業計画策定支援に関すること（生産性向上）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
生産性向上セミナー開催回数	12	23	A	12	31	12
生産性向上セミナー参加人数	240	283	A	240	426	240
導入計画策定件数	70	164	A	70	106	70

5-1. 事業計画策定後の実施支援に関すること（事業者）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
フォローアップ対象事業者数	200	671	A	200	634	200
支援頻度:成果指標設定先(延回数)	480	923	A	480	936	480
支援頻度:その他の支援先(延回数)	80	0	D	80	217	80

5-2. 事業計画策定後の実施支援に関すること（創業）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
フォローアップ対象事業者数	80	38	C	80	206	80
支援頻度(延回数)	240	83	C	240	313	240

5-3. 事業計画策定後の実施支援に関すること（事業承継）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
フォローアップ対象事業者数	14	23	A	14	3	14
支援頻度(延回数)	56	23	C	56	12	56

5-4. 事業計画策定後の実施支援に関すること（生産性向上）

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度
	目標	実績	評価	目標	実績	目標
フォローアップ対象事業者数	70	0	E	70	57	70
支援頻度(延回数)	210	0	E	210	171	210

6. 需要動向調査に関すること

項 目	令和2年度			令和元年度		令和3年度	
	目標	実績	評価	目標	実績	目標	
食品・飲食関連							
Food EXPO Kyushu	調査対象事業者数	200	195	B	200	263	200
個別商談会	調査対象事業者数	200	146	C	200	175	200
博多うまかもん市	調査対象事業者数	60	30	C	60	35	60
観光商談会	調査対象事業者数	20	0	E	20	22	20
海外展開関連	調査対象事業者数	100	32	C	100	118	100

7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

項 目		令和2年度			令和元年度		令和3年度
		目標	実績	評価	目標	実績	目標
食品・飲食関連							
Food EXPO Kyushu	対象事業者数	60	195	A	60	263	60
	成約件数	200	52	D	200	337	200
個別商談会	対象事業者数	500	242	C	500	450	500
	成約件数	180	85	C	180	353	180
海外展開支援	対象事業者数	50	43	B	50	112	50
	成約件数	70	29	C	70	257	70
博多うまかもん市	対象事業者数	30	30	A	30	0	30
	売上額	1,900 万円	1,323 万円	C	1,900 万円	0	1,900 万円
観光商談会	対象事業者数	20	8	C	20	22	20
	成約件数	50	15	C	50	50	50
ビジネスマッチング	支援事業者数	100	33	C	100	190	100
	マッチング成約件数	100	33	C	100	190	100
イノベーション支援	対象事業者数	10	3	D	10	11	10
	マッチング成約数	1	0	D	1	7	1

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

項 目		令和2年度			令和元年度		令和3年度
		目標	実績	評価	目標	実績	目標
ワンストップ海外展開支援	相談対応数	100	53	C	100	105	100

※ 「Ⅱ.地域経済の活性化に資する取組」及び「Ⅲ.経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組」(上記「ワンストップ海外展開支援」以外)については、数値目標を定めていないため、定量評価は実施なし。